

# 2019年度 第4回 11月

## 難関大記述模試

日本史B・採点基準

記述・記号部分

### ◆共通の原則◆

1. 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな・カタカナ表記には得点を与えない。また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記，カタカナで書くべき用語（語句）の漢字・ひらがな表記，にも得点を与えない。
2. 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
3. 部分点は設けない。
4. 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。  
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

- 1 北海道の歴史（2点×10=20点）
- 2 古代・中世の文化（2点×10=20点）
- 3 木綿の歴史（2点×10=20点）
- 4 近代における失業と就職（2点×5=10点）
- 5 大正・昭和期の史料（2点×10=20点）

\*注意事項・許容解など

特になし。

# 論述部分

## ◆論述問題・共通の基準◆

1. 採点基準においては加点要素を、**3点**のものは太字・アミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する(◎で示した事項、< >内に示した事項に内容が反していないかを確認する)。例外的対応などについては※で示してある。
2. **歴史用語等** (太字で表示) についての誤字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、漢字 1 文字分につき **1点減点**とするが、脱字、当て字のある歴史用語等の表記は、非加点。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所<sup>に</sup>誤字があった場合、減点しない。
3. 設問によっては加点要素の合計が配点を超えている場合がある。ただし、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。

## ◆採点基準上の記号◆

1. ◎ …前提条件 (例) 「◎**アメリカ**」  
「**a 第一次世界大戦**に参戦した」  
→答案例「イギリスは**第一次世界大戦**に参戦した」  
◎の内容と整合性がないため**非加点**  
※◎の内容は答案上に明示されていなくても良い
2. < > …前提条件 (例) 「**a** <首相の>**浜口雄幸**」  
→答案例「**浜口雄幸**蔵相」  
< >の内容と整合性がないため**非加点**  
※< >の内容は答案上に明示されていなくても良い
3. [ ] …別表現 (例) 「**a** **益田** [**天草四郎**] **時貞**」 → 「**益田時貞**」と「**天草四郎時貞**」
4. ( ) …省略可能箇所 (例) 「**a** **遙任**(**国司**)」 → 「**遙任**」と「**遙任国司**」

## 4 近代における失業と就職（論述部分）

### 問3

◆加点要素の合計6点→6点満点◆

◎士族が存在意義を失った1873年の政策

a 国民皆兵を理念とする徴兵制度の整備

……………2点以内

◎士族が特権を失った1876年の政策

b 廃刀令で身分上の特権を失った

……………2点以内

※「廃刀令」は1点

c 秩禄処分で経済上の特権を失った

……………2点以内

※「秩禄処分」は1点

### 問7

◆加点要素の合計4点→4点満点◆

◎1910年代の経済状況

a 大戦景気が到来した

……………1点以内

◎1920年代の経済状況

b 戦後恐慌、震災恐慌、金融恐慌におちいった

……………3点以内

※「戦後恐慌、震災恐慌〔金融恐慌〕におちいった」「震災恐慌、金融恐慌におちいった」は2点

※「震災恐慌〔金融恐慌〕、戦後恐慌におちいった」「金融恐慌、震災恐慌におちいった」は非加点

※「戦後恐慌〔震災恐慌／金融恐慌〕におちいった」だけでは非加点